「九条の会さかど」ニュース　2025年5月29日　第146号
http://www.9jo.jp/sakado　sakado@9jo.jp　連絡先 049-282-4968(小林)

石破首相は改悪に執念

言動を注視し、9条を守り抜こう！

西坂戸　大山　茂

衆議院で自公過半数割れしている中で一部野党を抱き込み、大軍拡予算の成立を強行した石破政権は支持率を大きく下げています。江藤前農水相がとんでもない発言で辞任するという失態から、一見すると石破政権は窮地に陥ったかに思えます。

ところが、マスコミの争点そらしのなか、石破首相は自民党の長年の「悲願」である憲法改悪を実現しようという執念を絶やさず、着々と準備を進めています。憲法改悪に執念を燃やす石破首相の言動を注視していかなくてはなりません。

５月22日、千葉市で行なわれた国際的な「武器見本市」で石破首相が講演し、武器輸出や武器の国際的な共同開発・生産を推進する考えを示したことは、首相が先頭に立って日本の軍事国家化を進めていこうという意図が現れています。

超党派の新憲法制定議員同盟が、５月23日に東京都内で集会を開きました。その中で、石破首相は「憲法は78年間一度も改正されていないので、果断に見直すことが重要だ。国会発議の早期実現に粘り強く取り組む」と表明し、憲法への自衛隊明記に執念を燃やしています。

そうした石破首相の言動を見過ごさず、世界に誇れる憲法９条をしっかりと守り抜いていきましょう。

戦跡めぐりの感想から

◆　初めて参加しましたが、大変具体的な戦跡めぐりを体験できて、勉強になりました。来年も続けて参加したいと思っています。**（平田更一）**

◆　坂戸の戦跡は人の話や写真で知っていたが、実際に現地を見て（確認して）より当時の状況が理解できた。

戦争に関する遺構として、後世に継げていくことが大切だと思う。**（谷口良雄）**

◆　46年前に若葉台団地に引っ越してきたが、開拓農民の人達の闘いが有ったればこそ私も坂戸市民になれました。この戦いがなければ今頃私はどこにいたか！この開拓農民の人たちの闘いに感謝しかありません。本当にありがとうございました。**（角田晃信）**

◆　一日ありがとうございました。**（長谷川さかえ）**

◆　身近な地区にこのような戦跡があることに驚きました。貴重な戦跡（施設）を残していただくよう願っています。

昔通った床屋さんが薬きょう拾いをやっていた話をしてくれたことを思い出しました。**（高草木進）**

◆　坂戸飛行場があったことは知っていたが、こんなにも痕跡があるとは思わなかった。戦後がこのまま続きますように。

日本が独自の外交・安全保障政策が打ち出せるように、理想に近づけるようがんばりたいと思う。**（中野悠介）**

◆　今日の戦跡めぐりに久しぶりに参加して、大変面白く、興味深かったです。そして戦争があった時代に坂戸飛行場ができた経過や存在を知ることができました。多くの人に知ってもらいたいと思います。

地元の坂戸でこんな歴史があったのだということを残したり伝えていくことが必要だと思います。

皆さんの討論も面白かったし、考えを深めることができました。ありがとうございました。**（大山嘉代子）**

◆　初めて参加しました。良い勉強になりました。色々知ることができて良かったです。ありがとうございました。

米軍基地になるのを住民の反対で阻止できた頃

九条の会さかど 20 周年のつどい

日　時　８月10日(日曜日)13時30分～16時30分
会　場　坂戸駅前集会施設（２階）集会室
講　演　９条変更はあり得ない！から１年
「戦争しない」は国民と国際社会への約束
講　師　西　美友加さん(国際弁護士)

戦争は核の抑止では回避することができません。話し合って互いに安心を供与しあい戦争の動機を無くせば、生き残ることができます。外交によってのみ戦争を回避することができます！を深めましょう。

の話を、くわしく聞きたいと思います。

◆　全国各地、県内各地の戦跡をできるだけ保存してほしい（＝訪ねたい）

戦争を経験した方が次第に亡くなります。今の内にできるだけ聴き取りをして記録と記憶を残していきたい。

戦地から帰った兵士の戦後の様子（ＰＴＳＤ・トラウマ）なども聴き取りをしたい。**（前島康男）**

◆　坂戸飛行場や被爆アオギリ二世などの言葉は耳にしたことはありましたが、今回初めて自分の足を使って確かめることができました。

坂戸中学校や筑波大学附属坂戸高校、市役所駐車場に、とても大事なものが残されていることがわかりました。看板など整備してアピールを工夫しないと、どんどん風化してしまうと思いました。米軍基地化を民力で阻止したことは大きな誇りです。**（戸来淑子）**

【９条バトンリレー（17）】
「新しい戦前」を止めよう

日の出町　市川恵司

日本は今年「戦後80年」を迎えましたが、タレントのタモリさんが2022年の年末、テレビ番組『徹子の部屋』で「2023年はどんな年になると思いますか」と聞かれて「新しい戦前になるんじゃないですかね」と発言しネットで話題となり、その言葉が大きな反響を呼びました。その言葉には重い意味と多くの示唆が込められていると思いました。

ロシアのウクライナ侵略開始後、日本の保守勢力はこの機会を絶好機ととらえ「ウクライナを見よ」「次は日本だ」と国民に恐怖心を植え付け、敵基地攻撃能力、防衛費の大幅増、アメリカからはミサイルや戦闘機などを爆買い、憲法９条で戦争を放棄し、戦力を持たないと世界に約束したことを反故にして、いつでも戦争できる準備を着々と進めてきた結果、タモリさんの言う戦前と同じような空気感、戦争のにおいが国の内外に満ち満ちて来たような気がします。

一方、憲法９条違反のこのような戦後日本の憲法にかかわる大転換が起こったにもかかわらず、メディアは思ったほどには反応が鈍く、逆に政府と一緒に「日本は戦後最も厳しく複雑な安全保障環境に直面している」と国民を脅す始末。国民もどこか虚空を見ているようで重大な事態の進行についていけず、気が付いたときは遅かったとならないか、現状を見ると今後の日本が極めて危ういと心配です。

かつて、安倍自公政権の安保法制反対の行動に機敏に反応した学生、若者、市民のエネルギーが国会を包囲した頃の様な熱気は全く感じられない、このままではアメリカ主導の戦争に知らぬ間に巻き込まれてしまう危険性があります。

今私達は、憲法９条が持っている大きな力、果たしてきた実績、歴史を今一度掘り起こし、９条は日本の平和のためだけにあるのではなく世界平和のモデルとして発信し、人類史の進歩に貢献する壮大な活動であるとの認識を持って、日本被団協が「ノーベル平和賞」を受賞したように、憲法９条もノーベル平和賞を受賞できるようにあらゆる方法で発信し、多くの若者たちや市民がそのことに勇気をもって声を出し行動してくれることが９条を守り戦争を回避する大きな力になると思います。**（次回のバトンは元町の新井竹子さんに）**

今の政治をバッサリ！笑い飛ばす！

お笑い風刺ライブ

沈黙は金ではない　投票にいこう！

10区市民の会事務局　高橋元文

アメリカのトランプ大統領、ロシアのプーチン大統領、イスラエルのネタニヤフ首相…これらの指導者は皆選挙で選ばれた人たちだ。

日本でも「コメ買ったことない」と発言して辞任に追い込まれた大臣もいる。

「選良」とは「すぐれた人を選び出すこと。また、その選ばれた人」と広辞苑にあった。

また民主主義とは、国民が主権を持ち自分達のために政治を行なうこと。具体的には多数決により国の意思決定を国民が行うと学校で習った。

しかし最近の選挙の投票率は50％どころか30％台も珍しくない。

民主主義の制度はあるがその制度が機能していないのだ。

自分たちの生活、人権に関わる大事な選挙に多くの国民が参加していないのが現実だ。

そこで考えたのがこの企画、たくさんの人に参加して欲しい。

第１部

社会風刺コント集団「ザ・ニュースペーパー」元メンバーによる痛快風刺ライブ

第２部　あいさつ（予定）

立憲民主党、日本共産党、れいわ新選組、社民党、新社会党

- **日時　６月29日（日曜日）14時から**
- **会場　松山市民活動センター**
- **主催　10区市民の会**
- **参加　500円（大学生以下と障害者無料）**
- **連絡　090-8340-8764（栗原）**

今後の運営委員会（会員なら誰でも参加できます）

６月28日（第４土曜14時～）、７月26日（第４土曜14時～）
会場は坂戸市役所に隣接した勤労女性センターロビー。